

不言実行の修練を

弓道ながの

第 8 号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部
印刷：榊長野企画会

年頭にあたって



長野県弓道連盟会長
古澤 博

新春を迎え、まず「明けましてお目出度う」を申しあげ、県弓連皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。旧年中は会員各位の格別なご支援とご協力を頂き、事業計画最後の弓道祭を以って、終了しました。誠に有難く、厚くお礼を申しあげる次第です。

「一年の計は元旦にあり」と申されていますが、毎年新年早々「今年こそ!!」と生活・仕事・弓道の稽古にと希望が湧いてきますが、しかし計画倒れにならないよう頑張ってもらいたいです。昨年は寒稽古について申し上げましたが、本年は不言実行で修練を続け努力して下さい。

の皆様にはお持ちになる資料、写真を提供して頂ければ、又是非史実にしたいことがあります。お手近の連盟史編纂委員にお送り頂きたく存じます。会員の力で、内容のある立派な県弓道連盟史を仕上げたく思っています。

さて、県弓連の皆様、本年は先ず稽古をつづけ、県主催の各種大会に多数参加して下さい。そして全弓連の審査に出場して合格して下さい。そのため自分を鍛え励まし修練し、その結果を自己反省して下さい。弓道は此処から自然に生れて来るものです。

五月京都の全国弓道大会、県選手権大会、全日本近的・遠的県予選、そして国体予選に出場し、心を磨き、技を錬り鍛錬することに集中して下さい。

昨年のインターハイで長野西高女子が団体準優勝してくれ、国体においても少年女子が遠的四位となり、明治神宮奉納全国弓道大会で久保田知恵さんの優勝と着着と成果をあげていることに感謝をしています。

会員諸兄姉のご健勝とご活躍を心から願って、新年のご挨拶といたします。

平成16年
元旦



長野県弓道連盟

名誉会長	宮澤 廣
会長	古澤 博
副会長	栗林 實
副会長	山川 茂樹
副会長	齋藤 節朗
副会長	渡辺 静夫
副会長	小林 武
理事長	桜井 耕三
常任理事	外蘭 公毅
常任理事	強化部長
常任理事	指導部長
常任理事	小池 梨枝子
常任理事	競技部長
常任理事	清水 克也
常任理事	古澤 金蔵
常任理事	ジュニア部長
常任理事	吉澤 金房
常任理事	審査部長
常任理事	高井 忠史
広報部長	

高校弓道の歩み

長野県弓道連盟

副会長 小林 武



9月29日付け信濃毎日新聞報道による「弓道県内高校で人気」「はかま姿へのあこがれ」の見出しで特集記事が掲載されました。県内の高校で運動部離れが進む中、弓道部への人気が集まっているという内容のものでした。

本年8月行われました全国高等学校総合体育大会弓道大会では長野西高校(女子団体)が見事準優勝に輝きました。しかし、かつては本県高体連専門部の中でも部員数が少なく未成熟種目とまでいわれていた弓道専門部がこれほどまでに盛んになっていることの要因はなんだろう。

高体連弓道専門部の歴史を振り返ってみる時にその糸口を知ることができればと私の手元にある高体連会報の資料から抜粋をしてみました。

第3号(昭和49年度)柴幹治郎専門委員長記『本年度は本県を代表するに足る力のある学校を全国大会に送ることができ、男女とも揃って上位入賞の

輝かしい成績を収めることができた』
 第9号(昭和55年度)宮崎今朝一専門委員長記『インターハイにおいては飯田女子の活躍を忘れることはできない。決勝戦における7回に亘る1本競射の末、刀折れ矢つきで準優勝に止まったとは言え、インターハイ史上に輝かしい名勝負として長く語り継がれると思う』

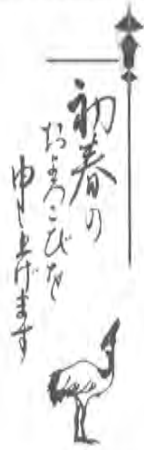
第15号(昭和61年度)齋藤節朗専門委員長記『実施校が昨年より増加して74校となり全国でも有数の弓道県となった指導者の熱意ある行動の賜である。さらに、これは弓道場を各校に建設してくださった県教委の理解ある態度も一因である。深く感謝したい。競技面としては、残念ながらもう一步のところであった。全県の平均的競技力は全国レベルにある。ところがいざ一番の大試合に肝要な「勝つ」執念が不足している。つまり、自身の弱い心に負けてしまうのである。弓道ではそれを「早気で離す」あるいは「あてつけ(当てたい気持ち)に負けてしまう」と表現する。弓道ほど、おのれに勝つ心と技が必要なものはない。指導にあたって反省すべき点である』

第20号(平成3年度)小林武専門委員長記『特筆は飯田女子高校の全国制覇の偉業でありました。また全国高校弓道部長の齋藤節朗先生(前長野県高校弓道専門委員長)から優勝旗が飯田女子高校の選手に渡されたことは高校

弓界にかかわる同県人として誠に感慨深いものがありました。本県の弓道実施校は昨年より2校増の77校になり、実施生徒数では3499名(男子1431名、女子2068名)昨年より172名増え、依然として全国第2位であります。この盛り上がりを大切に益々精進いたす所存であります』

第31号(平成14年度)古澤金蔵専門委員長記『昨年より新人大会におきましては、小規模校、少数部員校対策の一環として、競技内容の一部を変更し、団体戦は男女とも3人1チーム編成にしました。今年はお出場枠を拡大し、1校男女それぞれ3チームまでの参加を認めました。さらに、地区代表数を若干増やした結果、新人大会の参加校数は、65校+高専になりました。また、高体連弓道専門部のホームページを開設しています。http://kyuren.cool.ne.jp/koutairen/となります。是非アクセスしてみてください』

競技活動だけでなく、日常の自分と見つめ合いを求める弓道が多くの人熱心な指導者によって導かれていくこと。県の施策によって学校弓道場の設置がなされたこと。県弓道連盟との連携した指導の確立がなされていること。時代に即した機敏な対応があること等が上げられるのではないかと思えます。これからも多くの生徒が心身を鍛える場として弓道部が繁栄すること期待するものです。



顧問	顧問	監事	監事	理事(事務局長(会計兼))	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
大久保秀雄	濱與祐	吉沢清	松村泰夫	岡田真	重田功	渡辺富三	近藤明子	山浦博	北嶋晋	平野英孝	百瀬正	宮島一

～略歴～

大正11年10月25日生(81才)
範士八段 元長野県弓道連盟会長
現在同顧問

受賞関係(抜すい)

- ・国鉄永年勤続功績章 (昭和45年)
- ・全日本弓道連盟創立30年記念功労表彰 (昭和54年10月)
- ・県体協有功章受賞 (昭和57年3月)
- ・日体協公認スポーツ指導者功績感謝状 (平成8年3月)
- ・全日本弓道連盟地連会長退任に伴う感謝状 (平成9年5月)
- ・日体協スポーツ振興-公認スポーツ指導者-功績表彰 (平成9年12月)
- ・長野県教育委員会スポーツ振興功績表彰 (平成10年11月)
- ・全日本弓道連盟創立40年記念功労表彰 (平成11年5月)
- ・長野県知事体育振興功労表彰 (平成12年5月)

指導歴

- ・全日本弓道連盟派遣講師 (昭和58年～平成13年)
- ・全日本弓道連盟中央審査員 (昭和55年～平成14年)



大久保秀雄範士
晴れの叙勲

長野県弓道連盟顧問の大久保範士には11月3日、旭日双光賞受賞の榮譽に輝かれました。

先生は、昭和十年四月長野商業高等学校に入学し弓道部員となり、清水久太郎先生の指導を受け入門、卒業後、国鉄長野工場に就職され弓道部を創設し、坂西清信範士や、林亮天範士の指導を受けられ、国鉄の職場内に弓道場の新設や移転建設に尽力され、戦時中はベトナムハノイの軍隊内でも弓道場建設に関与するなど、ご自身の実に68年間にわたる弓道修練と、弓界における数々のご功績が高く評価をされたものと思います。

また国体や全国的な大会でも多くの栄冠を収められており、役職では県弓連理事、副会長、平成5年から9年では県弓連会長や北信越連合会長など歴任され、現在は顧問として連盟に寄り添ってまいります。

円満な人柄、温厚篤実なご性格は常に指導者として、弓道人として多くの方より尊敬されております。

先生は「皆さんのご支援でいただいた叙勲です」と喜びをかみしめておりました。

今後もお健康に留意されますますお元気で活躍されますよう心からお祈りいたします。

古澤博典弓道連盟会長
飯山市功労表彰

飯山市では、このたび市政進展への長年の貢献を讃え、自治・教育・環境分野で功績の方々の表彰がありました。

県弓連会長の古澤先生は、多年にわたりスポーツ文化の振興に特におられた功績を残されたとして、木内市長から表彰状と記念品が贈られ功績を讃えました。

受賞おめでとうございます。

参	参	参	参	参	参	参	参	顧	顧	顧	顧
与	与	与	与	与	与	与	与	問	問	問	問
丸	土	竹	井	市	長	堀	小	弾	日	遠	平
山	川	内	堀	川	橋	内	林	塚	暮	山	林
忠	俊	律	孝	茂	秋	忠	義	寛	千	肇	久
孝	市	子	雄	太	男	和	行		曲		男



宮澤廣名誉会長の九段昇段祝賀会



つたものと認識しており、中央では国際連盟設立準備の体制づくりが進められ大きな期待が寄せられるなか、微力ながら私も弓界のために頑張っていきたい」と力強く話し終りにはこれまでの家族の協力に対して感謝のことがばがあり締めくくった。

○10月13日/長野市「ホテル信濃路」

参加者152名

長野県弓道連盟長鉄支部主催による宮澤廣県弓連名誉会長の九段昇段を祝う会が催された。

式典では、中島勁支部長のあいさつの後経歴紹介(市川茂太教士)、記念品贈呈(井堀孝雄教士)、花束贈呈(加藤明美さん長野支部)と続き、濱與祐全弓連参与、古澤博県弓連会長から祝辞があった。

宮澤九段の謝辞では「先輩諸先生の公私にわたるご指導と、皆さま方の暖かいお引立をいただき今回の昇段とな



長乾杯の発声で始まり、和やかで賑やかな祝賀会となった。宮澤先生のますますのご活躍を心からご期待申しあげます。

祝宴は、栗林實県弓連副会

平成15年度

弓道祭

植村睦選手
(長野西高校) 優勝



○11月24日/塩尻市営/参加者114名

15年度の叙勲・昇段昇格及び全国大会入賞者を祝う弓道祭が本年も盛大に開催された。

古澤博県弓連会長の祝辞のあと、受賞者には感謝状と記念品が贈られ、受賞者を代表して大久保秀雄範士から謝辞があった。

被表彰者は次の通り

▼叙勲 旭日双光章

大久保 秀雄 (長鉄)

▼県有功章 清水 克也 (上小)

▼役員退任者

田口 光三 (上小)

春原 一郎 (上小)

降旗 昭雄 (諏訪)

▼昇段昇格

・九段 宮澤 廣 (長鉄)

・七段 渡辺 静夫 (木曾)

・教士 宮下 重敬 (長野)

春原 一郎 (上小)

永藤 聡 (須高)

・錬士 寺島秀人 (大北) 久保田智恵

(上伊那) 掛川 渡 (佐久)

土屋芳子 (上小) 宮本晴治 (大北)

金井まさ代 (長野) 原 利彦 (長野)

阿部 緑 (上小) 中田真也 (諏訪)

池田文英 (上小) 中根厚司 (松本)

竹岡幸彦 (安曇) 田尻幸恵 (中高)

▼第48回全国高等学校弓道大会

団体女子の部

第2位 長野西高等学校

監督 飯田 秀樹

選手 植村 睦 小林 洋子

樋口 綾子 中沢 樹理

湯本 七恵 寺島 礼奈

▼第58回国民体育大会弓道競技会

少年女子 遠的 第4位

監督 永藤 聡

選手 中沢 萌未 福沢留美子

植村 睦

▼明治神宮奉納全国弓道大会
称号受有者の部

優勝 久保田 智恵(上伊那)

古澤会長矢渡し(第一介添外蘭・第二介添高井)のあと祝射、被表彰者の答礼射、一手皆中者による競射が行われた。

答礼射では特に大久保範士の射は深い会で見事正鶴に束中、思わず見学者の中から拍手が起った。

◎弓道祭 射詰競射

- ①植村 陸(長野西) ②宮崎 完(上小)
- ③伊藤公二(塩尻) ④牧内和宏(飯伊)
- ⑤高木涼子(上小)



第58回わかふじ静岡国体を終えて

長野県弓道連盟強化部長

外 蘭 公 毅

本年度も成年男子と少年女子の2種別だけの出場となりました。成績も昨年より上位でしたが少年女子だけが遠の4位に入賞という同じような内容で終了しました。本年度から種目毎に得点されることになり、弓道は15点を獲得しました。

成年男子は本年度も遠的、近的共に予選通過を果たすことができませんでした。1チーム3人の場合、一人の不調は致命的で残りの二人では力カバーできません。国体は尚更です。3人がうまい具合に調子が合った所が入賞しています。収穫もありました。今年も優れた国体選手が育ってくれ、国体の魅力を感じてくれたことです。そして決勝トーナメントに進出した県の優れた選手の射を悔しさを込めて熱心に観戦しました。

少女はほぼ全国レベルの実力があると言えます。ただ昨年もそうでしたが取りこぼしがあります。今年もどちらかと言えば近的に自信があったのに予選1回戦に練習でも記録しなかった成績で、結局1本に泣きました。しかし



第58回 国民体育大会 弓道競技会

それにもめげず遠的に入賞し、実力のあるところを証明しました。今年度は北信越、本国体共に昨年とまったく同じ経過を辿りました。北信越国体では成年女子は実力ありながら歯車が噛み合わずよもやの敗退を喫し

てしまいました。少年男子は本国体のレベルは成年男子並であり、北信越でもレベルは高く、それと比べると長野県は力不足といえます。本国体出場権が与えられる上位2位までに入るにはかなりの強化が必要です。

最近の長野県少年の現況は、北信越5県の約半数を占める部員はいます。が、際立つて強い高校はなく、どんぐりの背比べ状態と言えます。この中から国体の選手3名を選ぶのは非常に難しく選考員の選考眼とクラブ顧問、各地区専門委員長との連携、情報収集が必要となります。

成年はやはり弓道人口は他県に劣りませんが、さて国体選手となるとなかなかいません。これまで本格的な育成を行なわなかったつけが回ってきているのが現状です。最近少しずつ優秀な選手が残ってくれており4、5年先が楽しみです。それぞれの部が現状維持でなく長野県の次世代のために優れた選手を育成するには何をすべきかを考えるべきかと思えます。

多くの皆様の御声援に感謝し、来年少年期待に沿うべく全力を尽くしたいと決意しています。相変わらずの御支援、御指導をお願い申し上げます。

シンボルマーク



ねんりんピック徳島大会

第16回全国健康福祉祭徳島大会が、10月18日〜21日徳島県下4市15町1村で開催され、この期間中に延40万人の観客と選手役員一万一千人が来場した、長野県からは、18種目20チーム120名が参加しました。

弓道競技では、各県及び政令都市の代表60チーム、監督選手等413名が鳴門市の徳島県鳴門総合運動公園弓道場に集まり、老人パワーを発揮する文字どおり熱戦を展開いたしました。

長野県代表は(4ツ矢2回)

相澤 勝浩	2中	2中	4中
宮澤 閻	3中	0中	3中
松澤 英男	3中	2中	5中
田中テル子	1中	0中	1中
土川 俊市	2中	3中	5中
計	11中	7中	18中

予選落ちとなりました。上位16チームが決勝トーナメントに進出できますが、過去の通過ラインが17〜18中とのことでしたが、今年は40射20中(羽分け)が予選通過ラインでした。

ねんりんピックへの参加については各県ごとの選出方法がとられており、

また、競技種目によっても異なった選考方法のようですが、何れにしても老人パワーの凄さに圧倒されました。

長野県方式は誠に紳士的で結構で楽しむことができましたが、全国的にはあの老人パワーを何とかしたいものだと思います。

ご声援ありがとうございました。

監督 土川俊市



長野県選手

明治神宮奉納全国弓道大会

久保田智恵 優勝

平成15年度の明治神宮奉納全国弓道大会が、例年どおり文化の日、至誠館弓道場において開催された。

この大会は、称号段位に関係なく、誰でも参加できる全弓連主催行事唯一の全国大会であり、県下からも毎年多数の参加者が出場している。

一手皆中の難しさもあるなかで、称号受有者の部決勝射詰では緊張のなか見事久保田智恵錬士五段(上伊那支部)が優勝した。

〈称号受有者の部〉

優勝	久保田智恵(長野県)	錬五
二位	小又 秀雄(群馬県)	教七
三位	土屋 則雄(東京都)	教六

第33回北信越弓道選手権大会

総合二位

団体男子有段者で優勝

11月16日/上越市弓道場

県関係成績は次の通り

〔団体〕—4ツ矢3回計12射—

◎男子有段者の部 一位29中

山岸 稔員 11中

志村 仁 9中

井垣 貴夫 9中

◎女子有段者の部 三位20中

水田 明美 8中

伊藤 綾 4中

笠原 渚 8中

◎称号受有者の部 四位22中

久保田智恵 8中

押金 孝 6中

土屋 隆 8中

〔個人〕入賞者

▼男子有段者の部

二位 山岸 稔員 11中

◆総合成績

一位 石川県 二位 長野県

三位 福井県 四位 富山県

五位 新潟県



長野県選手

第35回北信越学生 弓道選手権大会

10月11日～13日／富山大学特設弓道場
参加14大学(信州大学・長野大学)

▼団体の部(男子)

- ①信州大学 6勝0敗
- ②金沢工業大学 5勝1敗
- ③富山大学 3勝3敗

▼団体の部(女子)

- ①信州大学 6勝0敗
- ②金沢大学 5勝1敗
- ③新潟大学 3勝3敗

▼個人の部(男子) 40射

- ①吉岡真太郎(金沢大学) 38中
- ②寺島 洋平(信州大学) 38中
- ③近藤 恒平(同) 36中
- ④山田 英雄(同) 35中
- ⑤桃井 潤一(同) 35中

▼個人の部(女子) 40射

- ①熊谷 千夏(信州大学) 33中
- ②斎藤奈都美(富山大学) 33中
- ③木村 水保(金沢大学) 32中
- ④濱田 敦子(同) 29中

●山内杯

- 男子：鈴木 健太(富山大学)
- 女子：木村 水保(金沢大学)

第22回全国高等学校弓道 選抜大会 長野予選会

12月6日／県営飯田弓道場

冷たい雨の降る中、第22回全国高等学校弓道選抜大会長野県予選会が開催され、男子団体に飯田風越、女子団体に文大長野が優勝し、3月に東京都で開催される全国大会出場を決めた。

▼男子団体

- ①飯田風越(遠山越・古田寿大・市岡淳一・渡邊英昭)
- ②駒ヶ根工業(三ツ井・林・飯塚)
- ③下伊那農業(内山・北沢・長沼・山本)
- ③長野吉田(篠原・松藤・丸山・黒田)

▼女子団体

- ①文大長野(矢島はづき・横田あゆ美・小島亜沙美・峯村好美)
- ②飯田女子(横井・勝野・下田・村松)
- ③中野西(峯村・古幡・石田・成田)
- ③岡谷南(伊藤・大木・小林・岡庭)



第58回わかふじ静岡国体 少年女子遠的4位入賞!!

▽男子個人 本道 啓行(志学館)
▽女子個人 下田ゆかり(飯田女子)
個人は10月18日新人戦県大会で決定

◎少年女子

▽遠的競技(点数制)
予選合計122点＝3位で決勝トーナメントへ

○決勝トーナメント1回戦(準々決勝)
長野71点—岐阜37点 準決勝へ

○準決勝

長野48点—鹿児島65点(敗退)
3位～4位決定戦
長野27点—愛知36点
長野4位入賞

成年男子は近的・遠的とも予選通過できず、少年女子の近的競技は予選通過

過できませんでした。
暖かい御声援・御支援ありがとうございました。

審査合格者

○定期中央審査

◆六段の部 11月2日 東京
棚田 千鶴(長野)

○北信越三県連合審査

10月19日／県営飯田
参段 2名
中村 健二 松井 幸彦

四段 3名

矢島 ち志 小澤 剛志 市川 満子

五段 14名

半谷 友一 伊藤 公二 高橋 芳治
小林 勝子 今井 信江 瀧 雅代
春日 貴 三井 宏子 木村由紀子
櫻井 佳子 川瀬 良子 小垣 省悟
尾曾 廣男 武差 佳紀

(教員) 特別臨時審査

8月11日／甲府市
▼段位の部
参段 丸山 泰功
五段 外山 勇一 増田 亮

▼錬士の部

中田 真也

弓仲間紹介

弓仲間

塩尻支部

あけましておめでとうございます。

私共、塩尻支部は部員数が他支部に比べ、小数であります。また、年齢も若く、これからも学

ぶ事がたくさんあります。練習場は、塩尻市弓道場

を使用しています。平成八年に、

中央スポーツ公園内に移転、新築され、県弓連の行事、高体連の大会等に数多く利用されて

ています。日々の活動は、

奥平支部長、小越部長を中心に、毎年六月に開講する

弓道教室の運営や、大会運営、大会参加など積極的に活動しています。また、塩尻市内にある、塩尻志学館高校、田川高校弓道部の皆さんも、活動には積極的に参加

していただいています。安土の整備、弓道場内の清掃にも協力があり、非常に助かっています。このように、支部と高校生との交流があり、お互いの練習にも良い刺激となります。特に最近では、塩尻志学館高校は、全国大会へ出場するなど、毎日の練習の成果が結果となって表れています。この高校生が将来地元へ帰って来て、弓道と永く携わって欲しいと思います。



今後の課題として、部員の確保が重要であります。毎年行っている弓道教室を通じ取り組んでいきたいと思

思います。しかし、このように、経済的に不安定な時代であります。積極的に活動が、積極的に活動

審査合格者(地方)

○10月12日/池田町営

一級 63名 初段 21名
式段 14名

本道啓行・青柳裕美・黒岩和希・小口公一郎・木内直樹・白井寿子・岩間隆彦・山本仁美・高野勇樹・花村一・大槻 恵・宮島理恵・前田貴紀・丸山昇一

○10月13日/松本市営

一級 60名 初段 41名
式段 36名

牧垣秀一朗・小賀坂俊男・金井由佳・加藤明日香・三邨侑子・今井 秀・百瀬友子・守屋秋津・今井達也・有賀義浩・滝沢美紀・高橋裕一朗・費川恵利子・三村真理恵・降幡涼子・出口栄美子・保苅里美・垣外賢二・中山詩麻・田中眞穂・塚原真紀子・佐藤ひかり・本郷佐和・田中美帆・本木由香里・太田知宏・小林久美子・小林優生乃・小林美穂・荻原朝香・増田浩明・栗田朋美・布山文彦・曾我俊之・望月祐治・降旗匡子

松本絵理佳・寺島礼奈・中澤啓志・神田麻美・原 孝子・島崎美穂・斎藤正太・高橋裕香・常田美賀・小根澤巧・中山知子・瀧澤 梓・原山まな佳・田中千佳・塚田 絢・成田沙織・宮川定洋・西川信幸・木本隆成・白土巴瑠香・唐沢亜津紗・滝沢一美・外谷晶俊・宮澤明子・戸田絵里子・佐藤陽平・滝澤由衣・外山朋章・湯本なつ美・小嶋美穂・湯川 綾・上原麻衣子・川口真由美・高橋文彦・柄澤友希・宮下健司

○10月26日/飯山市営

一級 179名 初段 45名
式段 38名

稲葉早紀・村田幸裕・関沢愛美・井出洋文・野口美祥・大井春美・堀場一生・宮下恵祐・土屋博昭・櫻井大然

一級 1名 二級 13名
式段 61名

○10月26日/更埴市営

初段 9名 式段 21名

藤田泰正・藤田正輝・宮本一也・横田あゆ美・澤野美貴・大岡 梓・峯村好美・神戸美穂・矢島はづき・廣瀬さやか・吉原沙由美・山崎康博・岡田祐也・瀧澤 有・小山田祐樹・石引さおり・西澤智香子・瀧澤千津子・北村清・小林道子・小林弘幸

(中原 大輔)

宮原章徳・由井美代香・奥田詩織・柳澤孝祐・三石留里子・宮下綾香・上野	初段	31名	貳段	19名
譽・中澤綾乃・西沢瑛美・小林	宮嶋礼子・横手博文・五味由貴奈・田中沙織里・大木優季・大脇友梨・千葉			
歩・倉本理羅・小林香織・柳原真希	圭輔・横内沙紀・林 修一・山岸さおり・小林 聖・ペランジュキヤロル・			
子・赤羽 瞳・内堀 渉・中嶋美沙子・宮尾優輝・竹下真理・増田大輔・	松崎由理・伊藤さなえ・中山綾子・塩澤佳子・下島 朋・池上昭子			
増沢 恵・鎌城祐之・新井直幸・石合	○11月16日/県営飯田			
計一朗・朝倉美紗・須賀井南奈・小平	一級	96名	初段	54名
理恵・宇佐美真也・関 健治・本田大	貳段	57名		
人・嶋崎 愛・角田奈未子・渡辺尊	大原 恵・大平美紀子・三石勝利・渡			
徳・小林信久・竹下紗耶佳・油井佐恵	邊英昭・横前拓也・櫻井愛子・長沼将			
子・小林裕太郎・金子充孝・浦野恵未	基・伊藤竜太郎・吉川まどか・稲垣沙			
香・柞山直道・田中広之・竹川歩惟・	紀・筒井陽平・牧野晋作・木下貴裕・			
森泉拓志・原 南・平林みなみ・千	倉澤秀美・金子真帆・田中拓磨・下田			
葉清美・飯塚良一・上原 徹・岩上優	緑子・竹内 南・古田寿大・伊藤			
介・室賀一枝・杉浦庸子・霜田佳士	奈々・澤柳 勉・泰 典子・高坂奈美			
参 段 油井龍太・深浦真理子・廣	子・岡村由佳利・宮崎優子・筒井めぐ			
大輔・高木賢一・伊藤順平・鍋島裕	み・三石慎子・遠山 赳・原 哲也・			
隆・清水正郎・宮尾佳明・河合孝雄・	中平卓矢・熊谷麻由香・原 大貴・康			
中牧京子・宮下友里・上原美千代・田	野雅英・北沢詞貴・北原なつみ・塩澤			
村 豊・金澤三紗子・浅沼 緑・清水	一成・佐々木俊志・伊藤由佳・熊谷理			
伸浩・川俣 晃・三井まなみ・小池英	恵・浅賀陽子・唐澤彰吾・中島敦子・			
樹	堀田陽子・今江夏記・木下 薫・市岡			
四 段 松島琢真・矢澤直史・高畑正	淳一・山下理沙・池上 淳・下平理香			
之・小林正広・酒井みどり・原山美	子・寺尾 歩・熊谷 悠・西村由香・			
穂・野田秀志・外谷一芳	伊藤ゆかり・久保田英雄・丸山智子・			
○10月26日/伊那市営	大場政明・木下典子			
二級	3名	一級	106名	

私と弓道

正射必中を目標に

長野支部 伊藤 梓(参段)

私が弓道という道に入ったのは、高校の時でした。中学から憧れのスポーツではあったのですが、自分に弓なんて引けるのかと色々迷っていました。

でも実際に先輩の弓を引く姿を見て「私もやってみたい!」と思い弓道部に入りました。私達の学年は人数が五人だったので、絶対五人で団体組むを目標に互いに伸ばし合いながら弓を引いていました。最初は筋トレから始めたので、実際に中りができてきて弓を引くのが楽しいと思う頃には引退間近という状態でした。このまま終わらせたくないと思い一般で弓道連盟に入る事

を決めました。一般ではほとんど年上の人達なのでどう接すれば良いか悩みましたが、皆さんいい方ばかりで優しく接していただき、私はいつも楽しく弓を引くことができました。

私の目標は「正射必中」です。ただ当たればいいだけの射ではなく、正しい射形で弓を引き、誰から見てもすばらしいと言われるような射をしての中心を指しています。いろいろな事で迷ったり落ちこんだりもしますが、自分で納得のゆく射を研究していこうと思っています。それからもう一つ、私はプレッシャーに弱い為、競射や審査で緊張しすぎた自分の普段の射ができません。精神面をもっと強くし、緊張感を楽しむことができるようになりたいと思います。

弓道は奥が深く、私なんて一生かかってもその深い所まで行きつく事はないかもしれませんが、この先たりもしますが、この先まだまだ長いので、ずっと弓を引き続けながら弓道という道を追求していきたいと考えています。



前列中央 伊藤 梓さん

各地大会 結果報告

第53回県下弓道岡谷大会

○9月28日/岡谷市総合体育館弓道場
参加者207名

〔団体〕▽高校 ①下諏訪向陽K(上原 幸・山崎まり子・近藤亜美) ②岡谷南A(伊藤・大木・小林) ③下諏訪向陽E(五味・伊藤・田中)

▽一般 ①菁莪館(広田義照・渡辺静夫・土川俊市) ②伊那(伊藤・小垣・滋野) ③下諏訪B(長沢・三井・宮坂)
〔個人〕▽高校 ①上原幸(下諏訪向陽) ②伊藤香織(同) ③小澤香苗(同)
▽一般 ①土川俊市(菁莪館) ②飛知和明弘(上小) ③笠原 渚(諏訪)

第20回紅葉祭り大会

○10月13日/軽井沢木鶏館/参加者79名

▽個人 ①内野貴文(松本市) ②荒木義博(長野市) ③矢澤有史(松本市) ④小山喜代二(飯山市) ⑤五十嵐貴市(榛名町)
▽女子 ①西沢永子(松本市) ②青木敏子(群馬) ③廣橋美佐子(群馬)

第23回池田町県下弓道大会

○10月26日/池田町弓道場/参加者252名

▽高校団体 ①志学館A(豊野 貢・本道啓行・内山 俊) ②池田工業A(黒岩和希・細野友貴・秋山直喜) ③豊科B(高野勇樹・西沢宏幸・花村 一)

▽一般個人 ①池田B(吉野恒夫・曾根原登志男・大矢 誠) ②菁莪館(広田義照・大島健裕・林 義泰) ③安曇B(松澤 章・松井幸彦・上條 誠)
▽一般個人 ①林 義泰(木曾義仲) ②山崎利八(長野運動公園) ③山崎泰志(茅野)

松本城奉射弓道大会

○11月3日/護国神社弓道場
参加者187名

▽高校男子 ①花村 一(豊科) ②内山 俊(志学館) ③鎌倉有成(池田工業) ④同女子 ①横澤萌葉(白馬) ②今井加奈(松商学園) ③島崎 藍
▽一般 ①矢澤有史(松本) ②名取吉幸(諏訪) ③林 義泰(木曾)

第1回千曲市長杯大会

○11月3日/千曲市弓道場

旧更埴市を中心とした市町村合併で生まれた千曲市において記念すべき大会が開催された。

▽団体高校男子 ①長野西A ②長野東C ③長野日大D
▽同女子 ①下諏訪向陽 ②中野西D ③長野西A
▽個人一般 ①倉島 裕(佐久) ②掛川 渡(佐久) ③広田義照(木曾)

第38回飯島町県下弓道大会

○11月23日/飯島町弓道場
参加者150名

◆団体 ①伊那西高校(佐藤いず美・唐澤亜樹・宮脇美鈴) ②木曾菁莪館(広田義照・中村久美・土川俊市)
③飯伊(関島美奈子・木村由紀子・松島貞治)
◆個人8射▽高校の部 ①北原綾乃(伊那西) 8中②林 佑樹(赤穂) 7中③後藤美沙子(伊那西) 7中④佐藤いず美(伊那西) 7中⑤小林理央(岡谷南) 6中
▽一般の部 ①伊藤 綾(弓魂) 8中 ②松島貞治(飯伊) 7中③小沢剛志

(弓魂) 7中④牧内和宏(MKH) 7中⑤西澤永子(松本鳥) 6中
—北村弥昌—

第59回埼玉国体秋季大会 少年男女一次選考会

◆少年男子(高校単位)

長野西 真岸佳祐・米沢純樹・中村哲也
松本深志 荒深和志・柴原理恵・牧垣秀一郎(個人単位) 本藤啓行(塩尻志学) 吉川清高(同) 川島拓也(東海大三) 木本隆成(長野日大) 中沢啓志(同) 市岡淳一(飯田風越) 千葉圭輔(伊那弥生) 花村 一(豊科) 丸山真史(長野吉田) 金子充孝(上田) 飯田圭(中野西)

◆少年女子(高校単位)

飯田女子 横井千尋・勝野由紀・下田ゆかり
文大長野 峯村好美・横田あゆ美・小島亜沙美
松本深志 佐藤ひかり・小林久美子・本木由香里(個人単位) 村田知寿子(長野日大) 浦野恵未香(上田) 高橋裕香(長野西) 小林あすか(長野商業) 大槻 恵(田川) 若宮加奈(穂高商業) 竹内 南(飯田) 吉澤嘉奈子(松代)

—山田—

第59回埼玉国体秋季大会 成年男女一次選考会

○12月7日/塩尻市営弓道場

国体選手の早期選出と指定により選手としての自覚を持たせ冬期間の強化を図るため本年も12月に選考会を実施しました。

一次選考通過者は次の通り。

◆成年男子

志村 仁・唐澤 章・井垣貴夫・松枝敏広・小山謙太郎・石田 真・永藤聡・中村健二・小沢剛志・武田吉樹・小垣省吾・牧内和宏

◆成年女子

林 玲子・久保田智恵・伊藤 梓・伊藤 綾・山田昌代・西澤永子・小林勝子・武田礼子・長尾真樹子

以上国体指定選手とし、強化合宿を行ない、3月に二次選考会、7月に最終選考会を行ない、代表選手を決定する。

長野県弓道連盟

ホームページ

<http://kyuren.cool.ne.jp>

弓道用語・教歌

「引く矢束ヤツカ引かぬ矢束にただ矢束

放つ放れに放さるるかな」

引く矢束とは手先の技わざだけで押し引きして放つのであり、引かぬ矢束とは心の安定、気力の充実によって機熟し、自満の末に発するをいう。

ただ矢束とは矢束は引き込むが、ただ保持しているだけの状態にあるをいう。以上のうち「引かぬ矢束」を修練しなければならぬ。

早気はやきやもたれにならないためにも、引かぬ矢束を体得し、伸合のびあいに徹することが肝要である。

・かんげいこ 寒稽古

武道芸道等にて、寒中未明より、心身の鍛練修業を目的として、厳寒の候に稽古すること、これに対し、盛夏に行うものを、土用稽古・暑中稽古などという。

・いこみ 射込み

一つの的に向って、多数の射手が射る事を云う。



矢羽雑記

くまたか(角鷹)

鷹の中で矢羽として賞用するものは角鷹、和名抄には、久麻太加と書かれてあるものである。

一般に鷹と云われているものは、正しく呼べば「くまたか」と云うべきであつて、このほかにも鷹の種類はいろいろとある。

古来から鷹狩に用いられているのは「おおたか」とか「はやぶさ」であつてこれも鷹の一種である。

しかし「くまたか」が最も大形であり、羽の模様も美しく、矢羽としてこれに較うべきものはない。

又、神聖視されている白鷹などは小形の鷹の変態的な存在に過ぎない。

体の上面は暗褐色で、頭上

及び顔面は黒色、腰及び上尾は褐色と白色とが混じり、翼の風切りは濃褐色の帯斑がある。

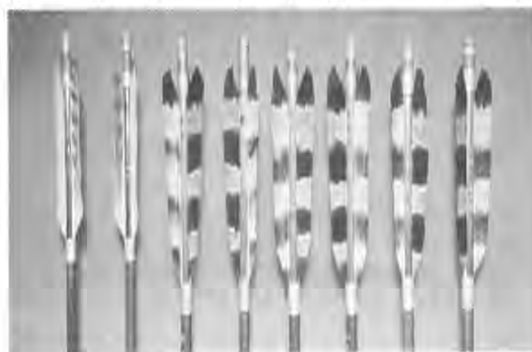
尾羽は各数條の黒色帯と灰褐色帯と交互するもので、下面喉及び胸は黄白

色で黒色の縦斑がある。嘴は黒色、雌は雄に似るもその形大である。

産地は本邦が主で、わずか朝鮮に一部棲息し、その気品高邁なる鳥として著名であり、肥後の菊池氏の紋を初め多くの家紋に用いられている。

三符三符・三符二符

これを矢に矧きたるとき、普通のもののは黒四段、白三段程の符になるものであるが、特に符が大きく、黒三段白三段、甚だしきときは黒三段白二段等



になる符がある、これを三符三符、三符二符とて特に珍重するものであつて、うすびょうの符の高くあるものを、高うすびょうと称するのと同じである。

又羽の上端を黒くする様にしたものを蟬の頭と云い、上部を白く羽取るものをヒシヤクの花(夕顔の花)と呼ぶとの説もあるため、先を黒色両様にすることがわかる、しかし矢に仕立てられた場合上端を黒にして付けたる方が断然よく引き立つものである。

(協力/中島弓具店・中島忠夫氏)

連盟史編集だより

編さん委員会も5月の委嘱以来、それぞれ部門において責任者が大変な努力をされております。

いよいよ本年は執筆を経て、原稿作成、提出の時期が刻々と迫ってきており、多忙で過密な日々が続きます。

また、貴重な資料、大会写真や講習会、審査、裾花川のほとりにあつた大弓道場の写真、県下を訪れた著名な範士先生の写真など連盟史にふさわしいものがありましたらぜひお貸しください。

ご協力をいただいた方にはお名前を巻末ではありますが掲載いたし感謝の意を表したいと思います。

◆編さん委員会事業別責任者

- 総務関係 斎藤節朗・岡田 真
- 競技 " 井堀孝雄・大山孝吉
- 団体 " 土川俊市・百瀬 正
- 指導 " 日暮千曲・北村弥昌
- 審査 " 村松康尾・飯田秀樹
- 資料収集 北村弥昌・大山孝吉
- 写真 " 百瀬 正・飯田秀樹
- 編集委員長 高井忠史

—みんなの力で
発刊を成功させよう—

会議報告

○11月29日/長野第一ホテル/長野市
常任理事会

〔議題〕・平成15年度事業報告と反省

・平成16年度事業計画(案)

・事業日程の調整

○12月9日/ウエルシティ長野

県弓道連盟史編纂委員会

〔議題〕・各部の進捗状況報告

・原稿提出及び今後の予定

○12月14日/ホテル信濃路

事業部会

〔議題〕・平成15年度事業報告

・平成16年度事業計画(案)

◆今後会議予定

16年1月18日 県弓連理事会

16年2月8日 県弓連総会



常任理事会

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。「弓道なごの」も、二度目の新年を迎える事が出来ました。会員皆様のご協力とご理解の賜と感謝申し上げます。本年も、原稿の執筆よろしくお願ひ申し上げます。昨年は、審査会・各種大会にと多くの会員が活躍なされ、11月24日には弓道祭が行なわれました。塩尻支部の皆様には、いつも大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

10月13日には、県弓連名誉会長宮澤廣先生の九段昇段祝賀会に、参加させていただきました。古澤会長初め範士の先生方が揃うと、長野県は凄いなと思えました。ご高齢の濱先生のご挨拶には、大変感動致しました。以前濱先生が、「長野県に足りないのは、天皇杯だけだな」の言葉を思い出しました。本年度は、会員一同是非頑張っていたきたいと思います。

「弓道なごの」発刊と連盟史の原稿作成、3月上旬第一回提出など広報部は、大変忙しい年になりますが、チームワークで頑張ります。

(百瀬 正)

謹賀新年

かぎりない弓道心に真心でおてつだい



有限会社

中島弓具店

長野市中御所1丁目12番5号

TEL026(228)3443 FAX026(223)4855